

避難所での生活を体験

避難所一泊体験訓練「防災チャレンジキャンプ」を、6月8日(土)・9日(日)の2日間に行ったり、志水小学校で開催しました。約百人の参加者が、テントや照明の設置、防災食(親子丼)の調理などを体験しました。また、防災講話や避難所運営ゲーム等の防災に関するゲームを通じ避難所の運営を疑似体験しました。今年には豊山ジュニアリーダークラブも参加し、子どもたちのリーダーとして活躍しました。

普段の訓練では体験できない新たな発見も生まれ、防災への備え方や減災対策に繋げることができました。

避難所での生活は、不自由なことが多いため、日頃から避難する際の荷物を準備しておく備えしておくことが重要です。このような訓練に積極的に参加し、災害に備えてください。



町政あんない

キラリ健康ナビ

子育てひろば

情報コーナー

まなびすと

わいわいプラザ

参加した方の声

防災チャレンジキャンプ

なかい こずえ
中井梢さん

豊

山町主催、防災チャレンジキャンプに、こんな体験は滅多にできないと思い、参加させて頂きました。

色々な話を聞かせてもらい、手分けしてブルーシートやテント張り。発電機や夕食準備もわかりました。その間子供達は、ジュニアリーダーに託していて、皆で楽しそうにしている姿を見て安心しました。

貴重な体験、ゲームやお話を通して教わった事は、沢山です。公的な場所も人も被災に遭うので、先ずは『自助』の為、自分たちが出来る事は自分でやっていけるように！と強く思いました。『共助』の為、日頃から地域の方と関わりも本当に大切だと感じました。

帰宅してすぐ、啓発品でいただいた家具転倒防止板を設置しました。『公助』という意味も含め、安心安全メールの登録もしました。もしもの対策対応をしっかり家族会議します。こんな機会があれば、また是非参加したいと思います。有り難うございました。

参加した方の声

防災チャレンジキャンプに

だん もちね
段百音さん

私

は、防災チャレンジキャンプに参加しました。震災を経験したことがないので、どんなことをするのかと思っていましたが、

沢山勉強になりました。まず防災グッズ作りです。袋と新聞でカップとスリッパの作り方を教えてもらいました。新聞スリッパは災害時に足を守ったり、暖を取ったりとも役立つと思えました。大人と子供で別れ、子供は本を読んでもらい、ジュニアリーダーの人にゲームしてもらいました。震災時のジュニアリーダーの活躍した話もきかせてもらい、遊んでもらって楽しかったです。

夜ごはんは、ビニール袋でお米を炊き、ビニール袋で親子丼を作りました。すごくびっくりでした。でも、この調理法だと、簡単に沢山の量が作れて、すごいと思えました。暗闇体験は、暗くて何も見えなくて怖かったです。

朝、自分たちの寝ていたテントを片付けるのは大変でしたが、この体験がすごく勉強になりました。ありがとうございました。

最後に

大地震や豪雨などの自然災害は、人間の力では食い止めることはできません。しかし、災害による被害は、私たちの日頃の努力によって減らすことが可能です。

災害が起きてからでは間に合いません。平時から、「自分ができること」、「近所と力を合わせること」、「近所と力を合わせてできること」などについて考え、話し合うことで、いつくるかわからない災害に備えておくことが大切です。

町では、町職員がみなさんのもとに出向いてお話をする出前講座を行っています。防災に関するお話やクイズ、ゲームを行う出前講座も開催しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

▼問合せ 防災安全課防災安全係 ☎ 28・0355

